



スリランカとモルディブの行政官研修員が篠崎宇部市長を表敬訪問

（前列中央：篠崎市長、前列中央右：JICA中国 村岡所長、前列中央左：宇部アイカ松田理事長）

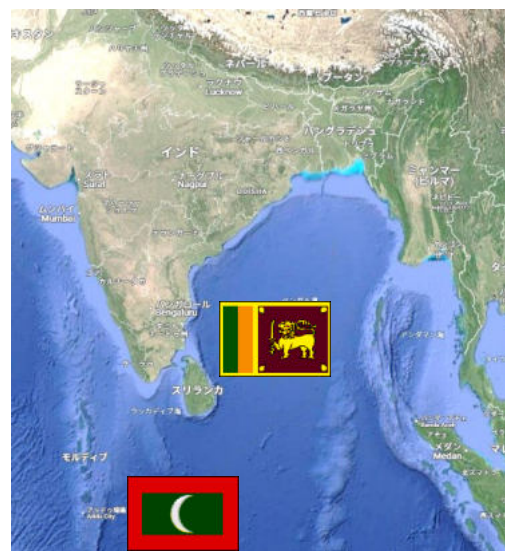
（前列左から2名:モルディブ研修員、同3名:スリランカ研修員、前列右から3名:モルディブ研修員、同2名:スリランカ研修員）

（後列3名:スリランカ研修員）

JICA青年研修 スリランカ・モルディブ 「環境管理（都市環境管理）」

スリランカから8名、モルディブから5名の行政職員を宇部に招き、JICA青年研修「環境管理（都市環境管理）」を実施しました。JICA中国が公示する青年研修は今回で15年連続して受託実施することができました！

スリランカとモルディブはともにインド洋に位置する島国で、歴史的にも地理的にも近く、友好関係を築いています。一方、スリランカの国民の70%は仏教徒であり、ヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教が各1割ほどであるのに対して、モルディブはイスラム教徒がほぼ100%であって、文化や習慣が大きく異なっているようです。



6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナリーシップで
目標を達成しよう



JICA青年研修「環境管理（都市環境管）」の概要

始めに、宇部市が経験した粉じん公害を「宇部方式」により解決した歴史を紹介し、続いて宇部市の環境政策、廃棄物管理、SDGsの取り組み、段ボールコンポストのほか、宇部市の防災と備蓄および避難所について講義を受けました。さらに、環境保全活動における行政と市民の連携や、市民による環境への取り組みを、講師や市民との質疑も交えて紹介し、宇部市の幅広い環境保全対策と環境に携わる人づくりについて理解を深めました。

環境技術については、宇部市と山口市のリサイクル事業所を視察し、食品廃棄物の飼料化工場、プラスチック再ペレット化工場、廃棄物の固形燃料化工場、セメント工場での廃棄物処理の取り組みを紹介しました。また、先進的な取り組み事例として、佐賀市の下水汚泥消化ガス発電設備と福岡県みやま市のバイオマスセンターを見学しました。バイオマスセンターはメタン菌の力で生ごみやし尿からエネルギーと肥料を再生する施設で、資源循環型のまちづくりを実践しています。

週末には広島市を訪れ、平和記念公園と平和記念資料館で平和学習、ガラス張りの焼却施設の広島市中工場の視察、また宮島の世界文化遺産「厳島神社」で自然環境保護について学びました。

- ・実施主体：JICA 中国、宇部環境国際協力協会、宇部市
- ・実施期間：2024年8月21日(水) から 9月4日(水)までの15日間
- ・研修員：スリランカとモルディブの青年行政職員13名（スリランカ8名、モルディブ5名）
- ・研修先：宇部市、宇部市環境保全センター、新町資源ごみ拠点回収施設、鶴の島ふれあいセンター、ときわ公園、(株)アースクリエイティブ、(株)広島企業、UBE三菱セメント(株)、(有)光田商店
佐賀市東よか干潟、佐賀市下水浄化センター、福岡県みやま市バイオマスセンター
広島平和記念公園・平和記念資料館、厳島神社、広島市中工場（焼却施設）
- ・台風接近のため研修中止：東見初広域最終処分場、山口大学医学部附属病院、(株)共英製鋼
- ・講師：宇部市、山口大学名誉教授、山口大学大学院教授、(株)オープンハウス、(株)トマス技術研究所
宇部観光コンベンション協会、宇部市地球温暖化対策ネットワーク、宇部市小学校元教員



独立行政法人 国際協力機構

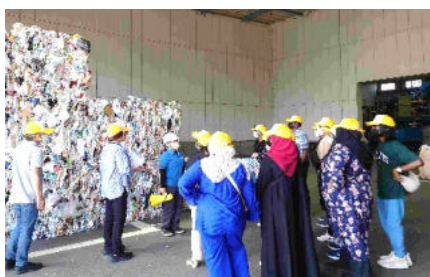
研修風景



宇部市役所1階 回収ボックス見学



みやま市バイオマスセンター



プラスチック再ペレット化工場見学



グループ討議@宇部アイカ事務所

CLAIR 自治体国際協力促進事業（モデル事業） 「離島における持続的環境啓発事業」



（一財）自治体国際化協会(CLAIR)の助成により、インドネシア共和国パプア州スピオリ県の行政職員3名を宇部市に招き、環境啓発活動の中核人材育成研修を実施しました。スピオリ県の職員は以前オンライン遠隔研修に参加しましたが、通信事情が悪く満足に聞き取りができなかったことから、対面研修について強い要望があり、このたび招聘研修を実施することができました。

スピオリ県はインドネシアの東部パプア州に位置し、人口24,000人程度の小規模な島嶼地域です。豊かな自然に恵まれている一方で、人口増加による生活ごみの増大と海洋プラスチックごみの漂着が深刻化しています。そのため、現地では市民が国際環境ボランティア団体Trash Heroの支部を立ち上げ、環境美化活動を率先して進めています。こうした熱意ある行動と要望を受け、行政と住民が協力して廃棄物問題に取り組む「離島における持続的環境啓発事業」を実施しました。

研修風景



篠崎市長表敬訪問



宇部市環境保全センター見学



常盤海岸ボランティア活動の現地新聞記事



自治会ごみステーション見学



ファイナルレポート発表会

「離島における持続的環境啓発事業」の概要

「宇部方式」と宇部市の環境保全行政を学び、続いて自治会やボランティアによるごみ分別とリサイクル活動、学校での環境教育と地域での環境学習などを紹介しました。また、環境関連施設やリサイクル事業を見学するとともに、持続可能な社会の構築に向けた広範囲な質疑を通して理解を深めました。

これらの研修成果を持ち帰り、自国の環境問題を解決するリーダーとして、環境啓発活動を活発に展開しています。

- ・実施主体：一般財団法人 自治体国際化協会（CLAIR/クレア）、宇部市、宇部環境国際協力協会
- ・実施期間：2024年9月21日(水)～10月3日(木) 13日間
- ・研修員：インドネシア共和国パプア州スピオリ県の行政職員 3名（当初予定研修員は4名）
- ・研修先：宇部市、宇部市環境保全センター、山口県環境保全事業団東見初広域最終処分場、新町資源ごみ拠点回収施設、鵜の島ふれあいセンター、ときわ公園、ときわ動物園、(株)アースクリエイティブ、(株)広島企業
- ・講師：宇部市、山口大学名誉教授、山口大学大学院教授、宇部観光コンベンション協会、宇部市環境衛生連合会、NPO法人うべ環境コミュニティ、宇部市地球温暖化対策ネットワーク、NPO法人クリーンオーシャンアンサンブル、元宇部市小学校教員
- ・海ごみ清掃活動：常盤海岸のごみ拾い清掃ボランティア活動～研修員の希望により、週末の空き時間に実施。その活動を直ちに現地へ送り、翌日の現地新聞に掲載されました。（前頁写真）
- ・平和研修：休日を利用して広島平和公園と資料館を訪問
- ・帰国後のフォローアップ確認：SNS (Instagram, Facebook) により現地の活動をフォロー

トラッシュヒーロー・ビアク (Trash Hero Biak) トラッシュヒーロー・スピオリ (Trash Hero Supiori)

トラッシュヒーロー運動はボランティアの若者と子供たちが主体となって、清掃活動を継続的に実施し環境美化に取り組むもので、インドネシアでは各地で取り組まれています。今回の研修員の2名がそれぞれビアク島とスピオリ島で組織を立ち上げ、住民と子供たちが笑顔で楽しく海岸や道路でごみ拾いを行う活動をリードし、SNSに投稿発信しています。



トラッシュヒーロー・ビアク
2021年設立



トラッシュヒーロー・スピオリ
2023年設立

環境国際セミナー：講演「NPO法人クリーンオーシャンアンサンプルが挑む海洋ごみ問題と取り組み」

小豆島を拠点とするNPO法人クリーンオーシャンアンサンプルは、長期的かつ持続可能な海洋資源利用の実現のため、革新的な海洋ごみ回収技術の開発やビジネスモデルの確立、海洋ごみ削減に向けた持続可能な回収システムの仕組み作り、を使命として活動しています。

本セミナーでは、NPO法人クリーンオーシャンアンサンプルの興味深い活動と、講師が海外で経験した活動について、ライブ配信によるオンライン形式でご講演をいただきました。

演 題：「NPO法人クリーンオーシャンアンサンプルが挑む海洋ごみ問題と取り組み」

講 師：特定非営利活動法人 クリーンオーシャンアンサンプル

理事 北川匡位（まさえ）氏

日 時：2024年6月25日（火）15:15～16:45

会 場：宇部市新川ふれあいセンター 二階 大会議室

参加者：20名

共 催：宇部市



環境保全技術講座：「宇部市在住の外国人留学生・職員と宇部市民との市内企業環境施設見学会」

外国人留学生・職員が宇部市内にある環境施設を宇部市民とともに見学する会を実施しました。本見学会は外国人留学生・職員（中国、モリルバトナム、東ティモール、パプアニューギニア）と宇部市民の交流を深めるとともに、プラスチックリサイクルと食品廃棄物リサイクルについて学ぶ貴重な機会となりました。参加した留学生は廃棄物に関する意識が高く、非常に興味深く満足できたとの感想が多くありました。宇部市の廃棄物処理施設の見学希望もあり、次の企画として検討しています。

見学先：①（株）広島企業 宇部テクノリサイクルセンター/プラスチック再ペレット化工場

②（株）アースクリエイティブ/食品廃棄物リサイクル工場

日 時：2024年12月11日（水）13:00～18:00

参加者：19名（英語通訳者1名を含む）

後 援：宇部市

助 成：公益財団法人 山口県国際交流協会



（株）広島企業 見学後の質疑



（株）アースクリエイティブ

新規環境技術研修コースの企画・提案、 研修プログラムの策定

1) 自治体国際化協会(CLAIR)の令和7年度モデル事業採択 「先駆的ESD指導者育成のための研修事業」

インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県のNGO法人セメスタと協力して、現地の学童を対象にした環境教育・学習の指導者を育成する研修事業を企画し、CLAIRモデル事業に申請したところ、2025年度実施事業として採択されました。

本事業では現地の行政機関を訪問して今後の協力関係を再確認するとともに、現地の状況を調査し、研修プログラムに反映して8月に実施する研修成果を高める計画です。また、ESD-環境教育・学習の普及を継続的に支援するため、JICA草の根技術協力事業の申請を想定しており、そのための準備段階としても位置付けています。



2) JICA草の根技術協力事業の申請準備

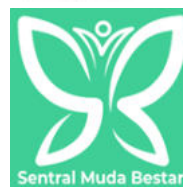
インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県と宇部市は環境分野での交流を長年続けてきましたが、JICA草の根技術協力事業についてはコロナの影響で中断していました。このたび、学童や若者を対象にした「ESD-環境教育・学習の普及」をテーマにJICA草の根技術事業を2025年度に申請することを計画し、現地のNGOと協力して企画検討を進めています。

昨年10月の時点でJICA中国に応募アイデアの事前相談をお願いし、企画案の概要を説明したところ、「将来を担う学童を対象にした環境学習の普及とその指導者の育成をテーマとするのは良い取り組み」との評価を頂きました。



3) セメスタと宇部アイカの覚書(MoU) 期間延長

インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県のNGO法人セメスタと宇部アイカは、環境保全分野における教育および研究協力を促進することを目的とした覚書(MoU)を2022年3月に締結し、ともに環境保全活動を協力して実施してきました。このたび、2025年3月を以てMoU記載の期間が満了することから、今後も更に継続して環境保全活動を協力して実施することを双方で合意し、本MoUの有効期間を5年間延長して2030年3月までとしました。



4) 山口県国際協力協会へ令和7年度国際活動助成金を申請

山口県国際交流協会(Yamaguchi International Exchange Association)は多文化共生、国際理解・交流・協力に関する事業を行う県内の民間国際活動団体に対して助成を行っています。これを受けて、宇部市民、外国人留学生、学生を対象にした「国際交流-環境学習見学会“医療廃棄物、一般廃棄物との違いとその処理方法について”」を一日行事として企画し、事業申請しました。





環境に関わる会議・Webセミナーなどの参加

- 5月10日 Webセミナー ごみの学校「～海洋プラスチック編～」
- 5月22日 Webセミナー WWF生物多様性スクール第1回「野生生物の今～ペット利用で知っておくべきこと」
- 5月30日 宇部市環境審議会 見学会@MCファースティコム(株)
- 6月15日 宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA) 総会@宇部市総合福祉会館
- 6月21日 JICAセミナー「東南アジアにおける法の支配～インドネシア、タイ、ミャンマーの事例から見る現状と課題」
- 6月27日 Webセミナー 朝日SDGs & WWFジャパン「持続可能なサプライチェーン～インドネシア 林業の事例」
- 7月24日 宇部市環境審議会 第1回@宇部市総合福祉会館
- 7月24日 Webセミナー WWF生物多様性スクール第2回「森林破壊の今～甘いチョコの苦い現実とは？」
- 7月30日 Webセミナー CLAIR「国際協力の架け橋～自治体、地域、NGO/NPOとの協働の未来」
- 7月31日 Webセミナー SOMPO環境公開講座「待ったなしの海洋ゴミ問題！」
- 8月05日 Webセミナー 宇部市環境教育指導者研修会「水循環教材の解説と教育現場活用事例紹介」
- 8月07日 Webセミナー SOMPO環境公開講座「キリンから考える生き物の不思議と地球の未来」
- 9月04日 Webセミナー SOMPO環境公開講座「大規模災害に備えた生態系減災」
- 10月09日 「せかい！動物かんきょう会議」小学4年生授業参観@新川小学校
- 10月13日 「せかい！動物かんきょう会議」インストラクター養成講座@宇部市総合福祉会館
- 10月16日 Webセミナー CLAIR London「ドイツ・フライブルグ市の環境政策」
- 10月18日 Webセミナー やまぐち県民活動支援センター「知っておきたい著作権のこと」
- 10月27日 Webセミナー 朝日地球会議「斎藤幸平が語る文明と世界2024」
- 10月30日 Webセミナー SOMPO環境公開講座「カカオを通じてつくるAll-winな社会の実現に向けて」
- 10月31日 Webセミナー 朝日地球会議「AIで世界は読み解けない？ 人類学X文学で見る社会」
- 10月31日 Webセミナー 朝日地球会議「ペットボトルの持続可能な未来を目指して」
- 10月31日 Webセミナー 三井化学「脱プラの再検討～循環型ビジネスへの新アプローチ～」
- 11月12日 新川小学校5年生対象「海ごみを調べよう（座学）」授業を参観
- 11月18日 宇部コンビナート省エネ・温室効果ガス削減研究協議会 研修会@宇部興産ビル
- 11月19日 藤山小学校5年生対象「カードゲームで食品ロス」授業を参観
- 11月26日 Webセミナー 三井化学ほか「素材転換でグリーンな世界は実現するか？」
- 11月20日 宇部市環境審議会 第2回@宇部市市立図書館
- 12月02日 Webセミナー JICA緒方研「国が運営する国際ボランティア事業：青年海外協力隊を事例として」
- 12月04日 「ときわ学～アニマルSDGs」常盤中学校1年生対象学習参観@ときわ動物園
- 12月11日 Webセミナー WWF生物多様性スクール第3回「森林大国日本の課題」
- 12月15日 宇部市デコ活フェスタin Library～パネル展示@宇部市市立図書館
- 1月11日 うべ環境コミュニティ環境サロン「食糧安保と一次産業の重要性」@新川ふれあいセンター
- 1月22日 宇部市廃棄物事業者研修会 講演「みんな参加型の循環社会」@ときわ湖水ホール
- 1月26日 ESDうべ推進協議会 ESD研修会～パネル展示@宇部市市立図書館
- 2月07日 Webセミナー 宇部市生物多様性事業者研修会「花王和歌山工場」「屋上極小ビオトープ」
- 2月13日 Webセミナー 朝日新聞地球教室「持続可能な未来へ 企業と次世代をつなぐマーケティング戦略」
- 2月17日 宇部市環境審議会 第3回@宇部市総合福祉会館
- 3月25日 Web研修 JICA「基礎からはじめる国際協力事業研修」（計画・立案編）

注）WWF:世界自然保護基金

広報活動

(1) 2024年6月15日(土)
宇部市地球温暖化対策ネットワーク (UNCCA) 総会
(会場: 宇部市総合福祉会館) において、
宇部アイカの活動を紹介しました。



(2) 2024年12月15日(日)
「デコ活フェスタ」
(主催: 宇部市、会場: 宇部市立図書館2階)
において、宇部アイカの活動をパネル展示し
市民来訪者に紹介しました。



(3) 2025年1月26日(日)
「ESD研修会」
(主催: うべ環境コミュニティ、会場: 宇部市立図書館2階)
において、宇部アイカの活動をパネル展示し、
ショートプレゼンで出席した高校生と市民に
紹介しました。



理事会 及び 総会

(1) 理事会:
2024年5月31日(金)
会場: 宇部アイカ事務所
前年度事業報告、
新年度事業計画などを
審議し、承認されました。

(2) 総会: 2024年6月25日(火)
会場: 宇部市新川ふれあいセンター
前年度事業報告、
新年度事業計画
などを審議し、
承認されました。



ボランティアのお願い

国際交流のボランティアを募集しています。
皆様方の実情に合ったボランティアを積極的に
行っていただけませんか。

＜国際交流ボランティア＞

今後も海外から多数の研修生が宇部市を訪れます。
外国語(英語、スペイン語、中国語等)の会話が可
能な方に、休日のホームステイ、宇部市内外の案内
等をお願いします。



会/員/募/集



＼会員になって一緒に国際交流活動をしてみませんか／
宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されています。
宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところから始
まります。お知り合いの方々へ お誘いをお願いします。
・会員数 ●個人: 82人 ☆法人: 35団体
・年会費 ●個人: 1口 1,000円 ☆法人: 1口 10,000円
・入会金 無料

発行

宇部IECA
宇部環境国際協力協会

UBE IECA

Ube International Environmental Cooperative Association

〒755-0045 山口県宇部市中央町2丁目11番21号

宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」 3F

TEL&FAX: 0836-36-3199

E-mail: info@ieca.biz

<https://www.ieca.biz>

